

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 良質で安全な医療の提供

地域における中核的な公的医療機関として、市民の多様なニーズに応え、市民の健康の維持および増進に寄与するため、医療機器の整備等により、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患の5疾病に対応する医療や救急医療などを提供し、その取り組みの内容を公表します。

(1) 高度・専門医療の提供

市立秋田総合病院（以下「当院」といいます。）の行う高度・専門医療を充実させ、最新・最適な医療を提供するため、専門的な研修の受講等により医療従事者の専門性を高め、診療機能の向上に努めます。

ア がんへの対応

秋田県がん診療連携推進病院として、引き続き、がんに対する難易度の高い外科的治療をはじめ、低侵襲の非外科的治療、化学療法および放射線治療を行うとともに緩和医療を効果的に行い、集学的治療を実施します。肝胆膵手術の秋田県における中心施設としての役割を果たし、この領域の治療成績の向上に努めます。

また、低侵襲手術である内視鏡的手術や腹腔鏡下手術について適応を見極めながら積極的に実施します。

ガイドラインに準拠しながらも個々の患者に最適な治療を選択し、低侵襲な放射線治療や治療成績全体を押し上げるための術前・術後化学療法を一層進めていきます。

また、乳がんについて、HBOCの遺伝性疾患に対する診療体制の構築を図るとともに乳房再建を積極的に行います。

更に、がん診療支援部を通じて、がん患者の指導、カウンセリング等を積極的に行い、情報の提供と満足感の得られる治療が行

われるよう努めます。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
がん手術件数	583件	620件
化学療法件数	2,961件	3,000件
放射線治療件数 (体外照射法)	4,162件	4,160件

イ 脳卒中への対応

急性期の脳卒中患者対応について、夜間休日を含む24時間のCT・MRI等の画像診断を含む緊急検査体制とtPA（経静脈的血栓溶解療法）等の早期治療体制を維持するとともに、入院早期からリハビリテーションを積極的に実施し、ADLの改善に努めます。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
脳梗塞入院1週間以内の リハビリ強度*1	9.8	10.0

*1・・・分母：1週間以上入院した急性期脳梗塞症例数

分子：上記患者の入院7日目までのリハビリテーション施行
単位合計

ウ 急性心筋梗塞への対応

急性心筋梗塞に対し、24時間対応が可能な冠動脈カテーテル治療とそれに続くICU（集中治療室）での管理により、引き続き高い救命率の維持に努めます。

【目標指標】

	平成30年度目標
急性心筋梗塞急性期PCI 実施患者死亡率*2	5.0%以下

*2・・・分母：急性心筋梗塞退院患者のうち、急性期PCI（心臓カテーテル治療）が施行された患者数

分子：上記の患者のうち、14日以内に死亡した患者数

エ 糖尿病への対応

チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等の糖尿病治療を提供するとともに、予防目的を含めた糖尿病教室を引き続き定期的に開催することにより、患者の生活習慣改善等の意識啓発に努めます。

オ 精神疾患への対応

市内における総合病院で唯一の精神科の閉鎖病棟を引き続き運営します。

身体合併症を有する精神疾患の対応病院として、総合病院に求められる精神医療の充実に努めます。

また、統合失調症や気分障害などの急性期入院治療、多様化と重症化する神経症圏の病態（摂食障害や人格異常など）への外来・入院治療に積極的に取り組みます。

更には、基幹型認知症疾患医療センターとして、認知症に関する各種相談や鑑別診断、専門医療を行います。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
院内他科入院中の精神科 診察依頼頻度*3	113.7%	120.0%

*3・・・分母：総病床数

分子：院内他科入院患者の精神科依頼件数

	平成28年度実績	平成30年度目標
精神科病院からの身体疾患 受入頻度*4	4.6%	6.0%

*4・・・分母：総病床数

分子：精神科病院入院からの身体疾患受入患者数

(2) 救急医療の提供

二次救急医療機関として、急性心筋梗塞、急性腹症、脳卒中、院外心肺停止、ショック、薬物中毒等の重篤患者に対する24時間365日の対応を継続し、ICUにおける集中治療を行います。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
救急搬送患者受入件数	2,305件	2,300件

	平成28年度実績	平成30年度目標
救急搬送受入率	98.7%	98.6%

(3) 採算性が低い医療の提供

採算性が低く民間医療機関では提供が不十分な医療については、市が設置する医療機関の公的使命として、今後も継続して提供します。

ア 結核医療

結核病床を有している秋田周辺医療圏内で唯一の医療機関であることを踏まえ、地域において求められる結核病床数を維持し、引き続き結核医療を提供します。

また、今後増加することが予測される潜在性結核感染症患者の診断と治療に積極的に取り組みます。

イ 精神医療

(1)のオの精神疾患への対応のとおり、精神医療の充実に努めます。

(4) 健診体制の充実

市民の疾病の予防や早期発見・早期治療のため、健康管理センター運営協議会においてきめ細かな検診項目の設定や利便性の向上について検討するとともに、人間ドック受診者へのホスピタリティーの充実を図り、特定健診・特定保健指導や企業検診の受託数を増やします。

また、受診者の精密検査受診状況を追跡調査により把握し、精密検査未受診者に対して受診勧奨を行います。

(5) 医療安全対策等の強化

ア 医療安全対策の強化

職員からのインシデント・アクシデント報告を徹底させ、毎月

開催する医療安全対策委員会でその分析を行いリスクを回避する方策を立案するなど医療安全対策に取り組みます。

インシデント報告が少ない職種への対策としては、多職種による報告体制を強化し、病院全体として安全な組織づくりを目指します。

また、全ての職員の意識向上を図るため、全職員に対し年2回以上の研修受講を義務付けて全職員共通の研修と、医薬品の安全使用のための研修や医療機器の安全使用のための研修など対象職員を限定した研修を実施します。

また、院内暴力の抑止のため、警備員の24時間配置を継続します。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
インシデント報告数	1,213件	1,300件
医療安全に関する教育・研修会開催数	24回	20回

	平成28年度実績	平成30年度目標
医療安全研修職員受講率	100%	100%

	平成28年度実績	平成30年度目標
転倒転落レベル2以上発生率*5	0.060%	0.070%以下

*5・・・分母：入院延べ日数

分子：入院患者転倒・転落レベル2以上該当件数

イ 院内感染防止対策の強化

毎月開催の院内感染対策委員会や院内感染対策チームによる週1回の院内巡回（抗菌薬ラウンド、環境ラウンド等）により、院内感染に係る情報の収集、調査、分析、対策の立案等を行い、感染対策専用掲示板や院内情報ネットワークの活用により情報の周

知に努めて院内感染の防止を図ります。

また、職員の院内感染についての知識の習得と意識の向上を図るため、全職員に対し年2回以上の研修受講を義務付けている感染対策研修について、受講率が100%となることを目指すとともに、手指衛生の徹底を図ります。

更には、感染防止対策に係る地域連携の一環として、連携病院の評価を受け、感染防止対策の実効性を高めます。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
感染対策研修職員受講率	100%	100%

(6) 女性と子どもに優しい病院づくり

女性特有の疾患に関する医療や小児医療の充実を図り、女性と子どもに優しい病院を目指します。

ア 女性に優しい病院づくり

乳がんや子宮がんなど女性特有の疾患に関する医療の一層の充実を図るとともに、日中は来院できない市民のため夕方に秋田市の乳がん・子宮頸がん検診を行う「夕暮れ乳がん・子宮頸がん検診」を引き続き実施するなど、女性が受診・相談しやすい医療環境の整備に努めます。

また、乳腺・内分泌外科、産婦人科、小児科と連携した遺伝性疾患への体制の構築を図ります。

イ 小児医療体制の充実

小児科医が平日24時間診療を行う小児科救急について、小児科救急運営会議を定期的で開催して、より円滑に事業を実施するとともに、これまで実施しているアレルギー外来や子どもの心相談外来などの専門外来に加えて、新たに発達障害のある子どもの治療や支援を行う発達外来を実施します。

ウ 産科医療の充実

緊急母体搬送の受入れを行うほか、合併症妊娠、切迫流産、重症妊娠中毒症の管理を行うなど、正常分娩以外にも対応し、安全

で快適な出産環境を提供します。

また、秋田県医師会が実施する「妊娠中からの子育て支援事業」に引き続き参加し、秋田市と連携して患者の妊娠・出産・育児に関する悩み等に対応します。

エ 遺伝カウンセリング外来の運営

遺伝病又は遺伝子が関係する疾病や問題に関してカウンセリングを行い、遺伝病等に関する詳しい情報や専門的な情報を提供するとともに、心理面のサポートを行います。

オ 病児保育施設の運営

子育て世代が安心して働けるように引き続き病児保育施設を運営し、病児の保育を行います。

そして、市内の保育所、幼稚園および小児医療機関に加え、新たに企業へのPR活動を行うとともに、ホームページの充実や随時の園開放により施設の周知に努め、利用登録数の増加を図ります。

(7) 高齢者に配慮した医療の充実

総合診療科の機能を充実させ、専門各科と連携して、いくつもの疾病を併せ持つ高齢者等への対応に努めるとともに、加齢性の眼疾患に対する手術を継続します。

また、長寿化に伴い高齢の精神病患者が増加していることから、身体合併症を有する精神疾患の対応病院として、その機能を十分に果たします。

また、もの忘れ外来において、認知症の早期発見・早期治療に努めるほか、基幹型認知症疾患医療センターとして、認知症に関する各種相談や鑑別診断、専門治療を行うとともに、地域の医療機関や介護施設と連携し、急性期治療後の医療や介護がスムーズに継続されるよう支援します。

また、がん患者の40%は75歳以上の高齢者であり、その多くは種々のリスクを持つことから、QOL（生活の質）を考慮に入れて、内視鏡治療や鏡視下治療などの低侵襲性治療を軸に治療します。

更に、運動器障害を有する高齢者に対しては、適切に傷病の治療を行うとともに早期に開始される急性期リハビリテーションや回復期リハビリテーションの充実を図り、高齢者の残存機能を引き出し、自立した生活への復帰を促します。

また、ロコモティブシンドロームについての予防医学的リハビリテーションの展開を図ります。

(8) 患者の視点に立った医療の実施

患者や家族が納得して医療を受けられる体制を維持するとともに患者サービスの向上を図ります。

ア 患者や家族の権利の尊重

患者や家族に対して治療方針や治療経過などを丁寧にわかりやすく説明し、納得の上で治療方法を選択できるように、説明書・同意書の書式や項目を統一し、インフォームドコンセントの更なる充実・徹底を図ります。

また、医療を自由に選択する患者の権利を守るため、当院の患者が主治医とは別の意見を求める場合には、必要な資料や画像等を貸出しするとともに、他の医療機関の患者に対しては、セカンドオピニオン外来により適切に対応します。

イ 患者サービスの向上

(ア) 患者待ち時間の短縮

引き続き地域医療機関と連携して逆紹介を推進すること等により受診患者数の適正化を図るとともに、再来患者について更に予約を推進し、加えて、医師事務作業補助者（医療クラーク）による診療支援等により、待ち時間の短縮に努めます。

また、患者待ち時間調査を行い、医療機能・患者サービス向上委員会において待ち時間の短縮および待ち時間の苦痛軽減策についての検討を継続して行います。

【目標指標】

外来患者待ち時間		平成29年度実績	平成30年度目標
予約あり	予約時間から*6	32分	30分以下

予約なし	受付から*7	57分	1時間00分以下
------	--------	-----	----------

- *6・・・予約時間枠の最初の時間から診察開始時間までの平均時間
- *7・・・受付した時間から診察開始時間までの平均待ち時間（診察前の検査等に要する時間を含む。）

【調査対象日】 2月最初の月曜日～金曜日

(イ) 患者満足度調査の実施

引き続き入院患者と外来患者に対して患者満足度調査を実施し、その結果を基に各部署においてその対応策を策定するとともに、医療機能・患者サービス向上委員会において患者サービスの向上についての検討を行います。

【目標指標】

	平成29年度実績	平成30年度目標
入院患者満足度 (満足+やや満足)	96.6%	100%
外来患者満足度 (満足+やや満足)	93.3%	100%

(ウ) 入院前支援の実施

入院を予定している患者に対し、入院生活や入院後にどのような治療経過を経るのかをイメージし、安心して入院医療を受けられるよう、入院中に行われる治療の説明や入院生活に関するオリエンテーション、服薬中の薬の確認、褥瘡・栄養スクリーニング等を看護師や薬剤師・管理栄養士などが入院前に実施し、入院を控えた患者の不安の軽減に努めます。

(エ) 接遇に関する研修の実施

全ての職員が患者の立場に立った、心のこもった接遇を実践できるよう、全職員を対象に外部講師による接遇研修を実施するとともに研修委員会において接遇向上に特化した検討を行い、接遇マナーの向上を図ります。

(オ) 院内環境の整備

患者や来院者に快適な環境を提供するため、施設設備の整備や修理を計画的に実施するほか、引き続き院内に絵画や写真等

を展示します。

また、院内を清潔に保つため、丁寧な清掃に努めます。

(カ) 病院ホームページの充実と広報活動の推進

当院の医療および患者サービスに関する情報を患者、地域住民および医療関係者に広く発信するため、広報委員会を設置して、その推進に努めます。

また、来院者があらかじめ病院に関する情報を入手し、安心して病院を利用できるよう、ホームページに掲載する病院案内や治療実績等の情報を充実させ、随時および定期的に更新するとともに、厚生労働省が全国の大病院に公表を求めている各項目の治療実績について、引き続きホームページにより公表します。

(キ) 院内行事の実施

院内において音楽会や病院祭を開催し、患者や市民へ安らぎや喜びの場を提供します。

(9) 病床機能の検討

急性期治療を経過した患者の在宅復帰支援を効果的に行うために平成28年に設置した地域包括ケア病棟を引き続き運営するとともに、秋田県が策定した地域医療構想を踏まえ、平成34年度に予定している新病院の開院に向けて、感染症病床と緩和ケア病棟の設置についての検討を行います。

2 医療に関する調査および研究

全国・院内がん登録、登録患者の予後調査、ICD疾病登録・NCID登録など、治療実績や医療に関する情報の蓄積・管理を行い、研究の用に供するためそれらの情報を医師等に提供するとともに、がん登録情報をホームページへ掲載します。

また、診断や治療など臨床に応用するための臨床研究について、倫理委員会の承認を受けた上で実施します。

更には、新薬の開発等に貢献し、治療の効果と安全性を高めるための治験を治験審査委員会の承認を受けた上で実施し、審査結果についてはホームページで公表します。

3 人材の確保と育成

良質で安全な医療を提供し、当院が担うべき医療機能を充実させるために必要な人材の確保と育成を図ります。

(1) 医療職の人材の確保

優秀な医療職の人材を確保するため、ホームページ等様々なメディアによる効果的な情報発信やPRを実施するとともに、院内保育所の運営など、職員にとって働きやすい就労環境の充実に努めます。

また、医師や看護師が本来の業務に専念できるよう、負担軽減に係る体制を維持します。特に医師については、引き続き医師事務作業補助者の活用などにより負担軽減を図ります。

ア 医師

大学等の関係機関と連携を進めるとともに、一定の条件を満たす医師については正職員化を図り、医師の確保に努めます。

また、教育研修プログラムの一層の充実により、臨床研修医の確保を図ります。

イ 看護師

看護師養成機関との連携や就職説明会の開催、病院見学会の随時実施、採用試験の複数回実施等により、看護師の確保に努めます。

ウ 医療技術者

医療環境や業務量の変化を見極め、それぞれの職種において適正な人員の配置に努めます。

【目標指標】

	平成29年度実績	平成30年度目標
医師事務作業補助者	21人	26人

(注) 3月1日時点

(2) 人材育成

職員研修規程に基づく組織的な研修実施体制により、職員全員に対し、それぞれの職種や職責に応じた研修を実施するとともに、医

療等の専門知識の向上や新たな医療技術の習得のため、学会や研究会等への積極的な参加を促します。

また、職務上必要な専門資格や認定資格の取得を支援するほか、奨学金制度を活用して必要な職員の確保に努めます。

4 地域医療への貢献

地域の医療機関等との連携を強化するとともに、研修医の受入れ等により医療従事者の育成に努めるなど地域医療に貢献します。

(1) 地域の医療機関等との連携強化

当院が主催する「地域医療連携の会」を年2回開催するとともに地域医療連携誌「らしん盤（年3回発行）」、「月報らしん盤（毎月FAX送信）」による情報発信などにより、地域の急性期病院として、かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関との連携強化に努めます。

また、地域の医療機関への働きかけをより積極的に行って紹介状持参患者の増加を図り、紹介率の向上に繋げることとします。

更には、連携医療機関以外の二次医療圏内の医療機関に対しても、患者紹介や連携に繋がるよう、訪問や広報等を行うこととします。

また、退院後の療養へ円滑に移行できるよう、福祉機関や保健機関、介護施設等とも連携を強化するとともに、かかりつけ医等との間で地域連携パスの活用を図ります。

そしてまた、当院の登録医に対して医療安全や感染管理等に関する研修機会を提供するとともに、引き続き当院の病床の一部を地域医療機関に開放し、連携の強化と医療資源の有効活用を図ります。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
紹介率（地域医療支援病院）*8	31.6%	40.0%
逆紹介率（地域医療支援病院）*9	96.3%	95.0%

*8・・・分母：初診患者数－初診救急搬送患者数－初診時間外患者数－

初診検診目的患者数（治療を開始した者）

分子：初診紹介患者数

* 9・・・分母：初診患者数－初診救急搬送患者数－初診時間外患者数－
初診検診目的患者数（治療を開始した者）

分子：初診逆紹介患者数

(2) 教育研修の推進

地域の医療を担う医療従事者の育成に貢献するため、研修医や医療教育機関からの実習生の受入れを行うほか、専門医等の育成に努めます。

ア 研修医の育成

教育研修プログラム等の一層の充実を図り、臨床研修指定病院として、研修医の技術・知識の向上に寄与します。

イ 実習生の受入れ

秋田大学医学部、秋田市医師会立秋田看護学校等の実習病院として、次世代を担う医師・看護師の教育に努めるとともに、医療技術者の育成のため、薬剤部・栄養室・リハビリテーション科等においても実習生の受入れに努めます。加えて、社会福祉士の実習生の受入れも行います。

また、秋田市との救急業務に関するメディカルコントロールについての協定により、救急救命士の病院前救護に関する医学的知識や技能の習得に協力します。

ウ 専門医等の育成

各種学会が認定する専門医の研修施設として、専門医の育成に努めるなど、地域における医療の中核となる人材の育成を図ります。

(3) 市民への保健医療情報の提供・発信

市民の健康づくりを推進するため、各種院内教室や健康講座を実施するとともに、保健所や公民館など市の関係機関と連携して随時の出前講座を行うとともに、「あらや健康セミナー」を定期的に実施し、医療や健康に関する情報の発信および普及啓発に努めます。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
院内教室等実施回数	41回	41回
出前講座等実施回数	18回	10回

5 災害時の体制強化

災害発生時に被災地内の傷病者の受入れ拠点となる災害拠点病院の指定を目指し、災害派遣医療チーム（DMAT）の2チーム体制を維持するとともに、院内救急車を配備します。

また、災害時には、秋田市保健所・秋田市医師会等の関係機関と協力して対応に当たることとし、院内での災害時対応訓練を強化するとともに3日分以上の災害備蓄品を確保します。

更には、業務継続計画（BCP）の見直しを行うとともに、病院間災害支援協定を締結している仙台市立病院および山形市立病院済生館との連携を維持し、災害時の人的・物質的援助を優先的に提供しあうこととします。

第2 業務運営の改善および効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営企画・分析力の向上

経営分析システム等による診療情報等の分析と原価計算の実施により、経営戦略的な観点での検討を継続して、経営の強化に繋がります。

また、平成30年度においても職務経験者採用を行い、病院経営に関する知識や経験を有する人材の確保を図ります。

2 外部評価

現在認定を受けている公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の次回更新（平成32年度）に向けて、平成27年度に認定更新された際に更なる改善を期待するとされた事項を中心に新たに求められる事項も含め、それらについて継続的な質の改善を図るため、引き続き医療機能・患者サービス向上委員会において改善の取り組みの点検・検証を行います。

また、全国自治体病院協議会および全日本病院協会が実施する医療の質の評価・公表等推進事業に引き続き参加し、当院の臨床指標を他

病院と比較して医療の質の向上に努めるとともに、当院のホームページにて当該指標を公開して透明性の確保を図ります。

3 効率的な診療体制の構築

電子カルテシステムの安定した運用により、引き続き患者情報の共有化と医療提供の効率化を推進します。

また、医療の安全性の向上と標準化を図るため、そのツールとしてのクリティカルパス（クリニカルパス）を積極的に適用していきます。そして院内のクリティカルパスについて、随時内容の見直しを行うとともに、バリエーション分析を行います。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
クリティカルパス使用率 (患者数) *10	24.9%	45.0%

*10・・・分母：新入院患者数
分子：パス新規適用患者数

	平成28年度実績	平成30年度目標
クリティカルパス使用率 (日数) *11	10.6%	23.0%

*11・・・分母：入院延べ日数
分子：パス適用日数合計

4 経費の節減

契約に際しては、競争性を確保しつつ、提案方式による業者選定、複数年契約、事業種類を組み合わせた複合契約など多様な契約手法を活用し、契約金額の圧縮に努めるとともに、一括調達等の入札方式を検討します。

また、安全性や供給安定性に配慮しつつ、可能な限り後発医薬品への切替えを推進するほか、診療材料等については、預託型SPDにより適正に在庫管理を行うとともに採用品目や購入金額の見直しを行い、経費の節減に努めます。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
医業収益に対する診療材料費割合（税抜き）	9.5%	10.0%以下
医業収益に対する薬品費割合（税抜き）	12.3%	13.0%以下
後発医薬品使用率（数量ベース）	88.8%	91.0%

5 収入の確保

診療報酬改定等の制度改正への迅速かつ適切な対応や未収金対策の強化により医業収入の確保に努めます。

(1) 診療報酬請求事務の体制強化

診療報酬請求事務を行っている委託業者への指導や、査定・返戻への対策会議の定期的な開催により、診療報酬の請求漏れや査定の減少を図ります。

また、より精度の高いDPCコーディングを行い、適正な医療費の請求に努めます。

更に、平成30年度の診療報酬改定に迅速かつ適切に対応し、各種施設基準の届出を行います。

(2) 未収金対策の強化

入院時における医療費の支払いについての説明を徹底するとともにクレジットカード決済を継続し、未収金の発生防止に努めます。

また、未収金が発生した場合には、債権管理規程および未収金対策マニュアルに基づき、未納者に対して督促等を行い、一定の期間が経過しても納付がなされない場合には、必要に応じて支払督促の申立て等の法的措置を行うほか、回収業務の民間委託を引き続き実施し未収金の回収に努めます。

【目標指標】

	平成28年度実績	平成30年度目標
個人分徴収率（現年度分）	99.3%	99.0%

（注）次年度5月末日時点

(3) 急性期一般入院料とD P Cへの的確な対応

平成30年度診療報酬改定により7対1と10対1入院基本料が急性期一般入院料に再編・統合されることに伴い、診療報酬が7対1入院基本料に相当する急性期一般入院料1の算定条件の充足に努め、収入の確保を図ります。

また、D P C係数の向上に向けた取り組みを継続するとともに、指導料・管理料等の算定率の向上を図り、増収に努めます。

(4) 医業外収入の確保

病院資産を有効活用するなど、新たな収入の確保のための検討を行い、実施可能なものについては、具体的な取り組みを進めます。

第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画および資金計画

1 予算（平成30年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
営業収益	10,915
医業収益	9,784
運営費負担金等	1,080
補助金等	51
営業外収入	122
運営費負担金等	9
補助金等	0
その他収入	113
資本収入	807
運営費負担金等	389
長期借入金	416
その他	2
計	11,844
支出	
営業費用	10,382
医業費用	9,757
給与費	5,806
材料費	2,257
経費	1,639
研究研修費	55
一般管理費	625
営業外費用	15
資本支出	1,175
建設改良費	505
償還金	670
計	11,572

2 収支計画（平成30年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収益の部	11,507
営業収益	11,391
医業収益	9,765
運営費負担金等収益	1,080
補助金等	546
営業外収益	116
運営費負担金等収益	9
補助金等収益	22
その他営業外収益	85
臨時利益	0
費用の部	11,502
営業費用	11,147
医業費用	10,543
給与費	6,070
材料費	2,090
経費	1,518
減価償却費	810
研究研修費	55
一般管理費	604
営業外費用	340
臨時損失	15
純利益	5

3 資金計画（平成30年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	16,057
業務活動による収入	11,037
診療業務による収入	9,784
運営費負担金等による収入	1,089
その他の業務活動による収入	164
投資活動による収入	391
運営費負担金による収入	389
その他の投資活動による収入	2
財務活動による収入	416
長期借入による収入	416
前期年度計画からの繰越金	4,213
資金支出	11,572
業務活動による支出	10,397
給与費支出	6,096
材料費支出	2,257
その他の業務活動による支出	2,044
投資活動による支出	505
有形固定資産の取得による支出	505
財務活動による支出	670
長期借入金の返済による支出	447
移行前地方債償還債務の償還による支出	223
次期年度計画への繰越金	4,485

第4 短期借入金の限度額

1 限度額 1,000百万円

2 想定される短期借入金の発生理由

(1) 運営費負担金等の受入れ遅延等による資金不足への対応

(2) 賞与の支給等一時的な資金不足への対応

(3) 医療機器等の購入に係る一時的な資金不足への対応

第5 出資等に係る不要財産等の処分に関する計画

なし

第6 その他の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

第7 剰余金の使途

決算において剰余金が生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てます。

第8 その他業務運営に関する重要事項

1 法令・行動規範の遵守

医療法をはじめとする各種関係法令を遵守するとともに、倫理的な問題を含むと考えられる医療行為については、臨床倫理に係るガイドライン等を参考に、病院内の倫理委員会又は治験審査委員会において十分な検討を行います。

また、患者の個人情報の保護および患者や家族からの情報開示請求については、秋田市個人情報保護条例（平成17年秋田市条例第11号）および秋田市情報公開条例（平成9年秋田市条例第39号）に基づき適切に対応します。

なお、職員の倫理と行動規範については、その確立のため、職員倫理規程および職員服務規程の周知徹底を図るとともに、全職員を対象にコンプライアンス研修を実施します。

2 新たな人事制度の構築と就労環境の整備

職員の意欲を高め、能力を最大限に発揮させるため、新たな人事制度構築のための準備を行うとともに、職員の就労環境の整備を図ります。

(1) 新たな人事制度の構築

職員の勤務成績等を適正に評価する人事評価制度やその評価結果を反映する給与制度などについて、引き続き外部委託業者の支援を得ながら、制度構築・検討を進めます。

(2) 就労環境の整備

地域医療を守る使命を全ての職員が共有し、一体となって質の高い医療を提供できるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した就労環境の整備に努め、時間外労働の短縮等に取り組みます。

ア 看護師については、変則二交代制の検証を行いながら、多様な勤務シフトについての検討を進めます。

医師については、国が検討している医師の働き方改革の検討内容を十分に踏まえ、就労実態を把握の上、長時間労働是正に向けた上司等による面談・指導を実施します。

また、育児休業、介護休業などの福利厚生制度についての周知を図るため、必要な情報をいつでも閲覧できるようホームページの職員専用サイトと電子カルテシステムの掲示板に情報を開示します。

イ 引き続き院内保育所を運営し、職員の育児を支援します。

ウ 職員の健康保持のため、産業医等によるメンタルヘルスを含む健康相談体制を維持するほか、衛生委員会を毎月開催します。

また、「うつ」などのメンタルヘルス不調を未然に防止するため、ストレスチェックを実施します。

3 移行前の退職給付引当金に関する事項

移行前の退職給付引当金の不足額1,080百万円のうち、平成30年度分として216百万円を計上します。

4 病院の改築と医療機能の拡充

当院が目指す医療の充実や施設のアメニティ向上等を図るため、市立秋田総合病院改築基本構想に基づき病院の改築を計画的に進めることとし、平成30年度においては病院改築実施設計等を行います。

第9 その他市の規則で定める業務運営に関する事項

1 施設および設備に関する計画（平成30年度）

（単位：百万円）

施設および設備の内容	予定額	財源
病院施設および医療機器等 整備	416	秋田市からの 長期借入金等

（注）*1～*5、*10および*11の目標指標は、公益財団法人全国自治体病院協議会が行う「医療の質の評価・公表等推進事業」の定義による指標である。